

大阪大谷大学  
平成30年度 入学試験問題（一般前期）

日本史

**注意事項**

1. 問題冊子は、全部で6ページです。解答用紙は1枚です。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
4. 問題冊子は持ち帰ってください。

【1】次の史料を読み、設問に答えよ。

冬十月辛巳、詔して曰く、「……<sup>こ</sup>粵に天平十五年歳次癸未十月十五日を以て、菩薩の大願を發して、盧舎那仏の金銅像一軀を造り奉る。国銅を尽して象を鎔し、大山を削りて以て堂を構へ、広く法界に及ぼして朕が①知識と為し、遂に同じく利益を蒙らしめ、共に菩提を致さしめむ。夫れ天下の富を有つ者は朕なり。天下の勢を有つ者も朕なり。この富勢を以て、この尊像を造る。事や成り易き、心や至り難き。……②もし更に、人情<sup>こころ</sup>に一枝の草、<sup>すくい</sup>一把の土を持ちて像を助け造らむと願ふ者有らば、<sup>ほしきまま</sup>恣<sup>ゆる</sup>に聴せ。……」と。

<設問>

(1) 上の史料は、『日本書紀』のあとをうけて編纂された歴史書からの抜粋である。その書名を記せ。

(2) 上の史料に紹介された詔は、「大仏造立の詔」と呼ばれ、国家仏教の中心施設となる寺の本尊の造立を命じたものである。その寺は一般に何と呼ばれるか。

(3) 「大仏造立の詔」を發布した天皇は誰か。

(4) 「大仏造立の詔」が發布され、造立事業が開始された時、都は現在のどの府県にあったか。次の(あ)～(え)からから選び、その記号を記せ。

(あ) 奈良 (い) 滋賀 (う) 大阪 (え) 京都

(5) 「大仏造立の詔」が發布される少し前、諸国に寺を建て、護国の經典を書写させることなどを命じた詔が發布された。その詔は一般に何と呼ばれるか。

(6) 8世紀当時、護国の経典として重視された経にはどのようなものがあるか。代表的な経典の名称を一つ記せ。

(7) 下線部①「知識」とは、具体的にはどのようなことをすることが期待された人々か。下線部②の記述を手がかりとして簡単に記せ。

(8) その「知識」の集団を率いて大仏造立に寄与し、「大僧正」に任じられた人物を、次の(あ)～(え)から選び、その記号を記せ。

(あ) 玄昉 (い) 道昭 (う) 行基 (え) 道鏡

(9) 8世紀に造立された大仏は、源平の争乱のため、1180(治承4)年に焼損した。その再建に尽力し、後に征夷大將軍となる人物は誰か。

(10) 大仏再建の際、「大勸進」に任命されて事業を推進した人物を、次の(あ)～(え)から選び、その記号を記せ。

(あ) 運慶 (い) 重源 (う) 法然 (え) 貞慶

(11) 大仏の再建に伴う伽藍の整備にあたって採用されたのは、大陸から伝来した豪放な力強さを特徴とする建築様式である。その様式は何と呼ばれるか。

(12) 上の様式とは対照的に、こまかな部材を組み合わせて整然とした美しさをあらわし、円覚寺舍利殿などの禅寺の建築に用いられた様式は何と呼ばれるか。

【2】次の文章Aおよび史料B・Cを読み、設問に答えよ。

A

将軍と主従関係を結んだ [ a ] 万石以上の武士を大名と言う。江戸時代の大名は、将軍との親疎関係で分類されていた。徳川氏一門の大名を [ b ]、はじめから徳川氏の家臣であった大名を [ c ]、関ヶ原の戦い前後に徳川氏に従った大名を [ d ] と言う。

江戸幕府の3代将軍 [ e ] は、大名に国元と江戸とを1年交代で往復する [ f ] を義務づけた。このころまでに、将軍と諸大名との主従関係は確立する。この関係を前提として、将軍と大名が土地と人民を統治する支配体制を [ g ] と言う。

幕府は、[ d ] の多い西国方面とともに、朝廷を監視する [ h ] を設置した。また、[ i ] は、[ h ] と連絡をとりながら、朝廷と幕府とをつなぐ役割をになった。このように、幕府の大名統制と朝廷統制は並行して進められた。

B

- 一 文武弓馬ノ道、専ラ相嗜ムベキ事。……
- 一 諸国ノ居城修補ヲ為スト雖モ、必ズ言上スベシ。況ンヤ新儀ノ構営堅ク停止令ムル事。……
- 一 隣国ニ於テ、新儀ヲ企テ、徒党ヲ結ブ者之有ラバ、早ク言上致スベキ事。……
- 一 私ニ婚姻ヲ締ブベカラザル事。……
- 一 諸国諸侍、儉約ヲ用ヒラルベキ事。……
- 一 国主、政務ノ器用ヲ撰ブベキ事。……

C

- 一 天子諸芸能の事、第一御学問也。……
- 一 [ j ] の寺住持職、先規希有の事也。近年猥りに勅許の事、且は藤次を乱し、且は官寺を汚し、甚だ然るべからず、向後に於ては、其器用を撰び、……申し沙汰有るべき事。

<設問>

(1) 文章Aの空欄 [ a ] ～ [ i ] に適当な語句を記せ。

(2) 史料Bと史料Cは同時に出された法令である。それぞれの名称を記せ。

(3) 次の(ア)～(オ)の5つの出来事を、起こった順に並べ、その記号を記せ。

(ア) 史料B・Cの発布      (イ) 関ヶ原の戦い      (ウ) 大坂夏の陣

(エ) 大坂冬の陣      (オ) 江戸幕府の成立

(4) 江戸幕府は、史料Bと前後して、大名の居城を一つに限る命令を出した。その命令は何と呼ばれるか。

(5) 福島正則は、史料Bの、ある項目に違反して処罰された。その違反行為を簡単に記せ。

(6) 史料Cの [ j ] の寺とは、朝廷から認められた高僧が住持となる寺のことである。1627年に幕府はこれをめぐる問題で大徳寺の沢庵らを処罰する。[ j ] にあてはまる語句を記せ。

【3】次の文章を読み、文中の空欄〔 a 〕～〔 j 〕に適切な語句を記せ。

アフガニスタンのカーブル国立博物館の入口には、次の文言が掲げられている。

文化が生き続ける限り、その国は生き長らえる。

アフガニスタンでは、激しい内紛の混乱のなか、2001年バーミヤーン東西大仏が爆破され、博物館に収蔵された文化遺産も危機にさらされた。この言葉は、決死の覚悟で貴重な遺産を守ろうとした人々の叫びと言える。

日本でも近代以降、幾度かの大規模な文化遺産の危機を経験している。

明治初年、政府は王政復古による祭政一致の立場から、古代以来の神仏混交を禁じて神道を国教とする方針を打ち出した。これに関わる一連の法令を〔 a 〕と言う。これをきっかけとして、全国で〔 b 〕の嵐が吹き荒れ、仏像を中心に多数の古文化財が破壊された。奈良の春日神社と結びついていた〔 c 〕寺の被害は特に大きく、現在国宝に指定されている五重塔も消失の危機にあったと言われる。安値で買い取られ、海外に流出した古美術も多い。

こうした動きが収まりかけた1871年、日本初の文化財を保護する法律である「古器旧物保存方」が制定され、1897年には「古社寺保存法」に引き継がれた。これらにより、古文化財の所在調査が組織的に行われるようになった。

文化財調査で大きな役割を担った文部官僚に岡倉天心がいるが、彼はのちに〔 d 〕学校初代校長をつとめ、講義で古寺調査の様子などを語っている。同校副校長を務めたアメリカ人の〔 e 〕もまた、文化財行政に深く関わったことで知られる。

政治動向によって引き起こされる文化財の危機は、近代日本以外にも事例をみることができる。例えば、中華人民共和国で1966年に開始された〔 f 〕である。その内実は、中国共産党における権力闘争という性格が強いが、既存のあらゆる伝統的権威を否定する激しい運動は、10年間

の長きにわたって続いた。文化遺産の破壊規模の全貌は未だに把握できない。

1941年、日本はアメリカ・イギリスに宣戦布告し、第二次世界大戦の一部としての〔g〕戦争が開始された。戦争が激化するなか、海上輸送が途絶すると、物的資源不足を補うために金属の供出が求められたが、これに供された文化財もあった。1944年には、アメリカ軍機による本土爆撃が激化した。歴史的・文化的に重要な遺産が選定され、攻撃目標から外されたことが後に明らかになったが、攻撃によって失われた文化遺産は極めて多い。

戦後の文化財保護の歴史を考える上で、1949年が一つの画期となる。この年、解体修理・模写事業が進められていた〔h〕寺金堂壁画が焼損した。これをきっかけに1950年に制定されたのが、〔i〕法であり、文化財指定、修理、修理技術者養成などが、文化財保護委員会によって進められた。さらに、1968年には、伝統ある文化財を保護し、文化を振興するために、文部省外局として〔j〕が設置された。戦後、国民の文化的要求は多様化し、文学・芸術・スポーツ・旅行などあらゆる面に及び、国際化したことに応える意味もあった。

冒頭の言葉は、「国」を「地域」と読み替えてもよいだろう。歴史文化を学ぶことは、それを伝えてきた人々の記憶を守ることにほかならない。